

管内概要

1 位置

当事務所の管轄地域は甲府盆地の東部に位置し、東西約29km、南北約43km、北部は埼玉県秩父市及び長野県川上村に、東部及び南東部は富士・東部林務環境事務所管内に、西部は中北林務環境事務所管内及び南西部は峡南林務環境事務所管内に接しており、総面積は約75,583haである。行政区域は、市町村合併により、甲州市、山梨市、笛吹市の3市を包括し、全県面積の約16.9%を占めている。(令和2年3月末現在)

2 地勢

山系は、関東山地に属する北部の国師ヶ岳(2,592m)甲武信岳(2,475m)笠取山(1,953m)等の県境を東西に走る主脈と、国師ヶ岳から南進し、倉沢山、水ヶ森、兜山、大蔵経寺山に連なる西部の支脈、及び笠取山から大菩薩嶺、小金沢山、笹子峠に至る東部の支脈、並びに南部に連なる御坂山系に囲まれ、南西部に開けた地勢で、壮年期の複雑な地形をしている。水系は大きく多摩川流域と笛吹川流域に分けられ、多摩川流域は柳沢峠以北の東京都水源林のある甲州市塩山一ノ瀬高橋といわれる地域であり、笛吹川流域はさらに、荒川、重川、日川、金川、芦川の各流域に分けられる。

3 地質

地質は、管轄区域の大部分を新第三紀に属する花崗閃緑岩及び石英閃緑岩の花崗岩類で占め、一部に安山岩質の火山岩類及び火砕岩類が分布している。また、東部には白亜紀及び古第三紀に属する砂岩、粘板岩が分布し、南部の笛吹川沿岸の緩傾斜地は、礫、砂の沖積層である。

4 気象

四囲を、2,000m級の高山に囲まれ、標高差による気温の地域差が大きく、また気温の日較差、年較差の大きい内陸的気候である。降雨は夏雨型で雨量は高地、特に甲武信ヶ岳から大菩薩嶺・御坂山系の稜線付近は、年平均1,700mmと多いが、他は1,200mm程度である。積雪も秩父稜線付近で大雪となるが、その他の地域は気温の低い割には少ない。

5 林況

森林面積は、国有林208ha、県有林26,698ha、都有林5,608ha、民有林24,152ha、合計56,666haで、管内総面積の約75%を占めている。森林面積の約半分程度は人工林で、カラマツ、ヒノキ、スギが主体となっている。天然林は標高1,500m以上の高い地域に多く、亜高山地帯にはツガ、シラベ、トウヒ等の針葉樹にカンバ類、ハンノキ等の広葉樹が混交し、標高が低くなるに連れ、ブナ、ミズナラ、カエデ類が、里山地帯にはコナラ、クリ、シデ類が生育している。

6 その他

乙女高原、乾徳山・西沢溪谷、三窪高原・大菩薩嶺、兜山、稲山の各地域は、森林文化の森などとして位置付けられ、森林レクリエーション地域として年々その利用度が高まり、保健休養の場として大きく貢献している。

行政区域面積及び森林面積

区分 市町村	行政区域面積 (ha)	森林面積 (ha)					森林比率 (%)
		民有林	県有林	国有林	都有林	総数	
山梨市	28,980	11,005	12,598	94	0	23,697	81.8
笛吹市	20,192	7,381	4,327	114	0	11,821	58.5
甲州市	26,411	5,767	9,773	0	5,608	21,148	80.1
管内合計	75,583	24,152	26,698	208	5,608	56,666	75.0

注: 行政区域面積は「令和元年全国都道府県市区町村別面積調」による。

注: 森林面積は、地域森林計画(富士川上流森林計画区、H29.4.1～R9.3.31)による。

注: 各数値の合計は、四捨五入のため一致しないことがある。

円グラフ

- ・管内林地分布
- ・山梨市林地分布
- ・笛吹市林地分布
- ・甲州市林地分布

